



July 25.2010

No.104



かが んが

kanda

議会だより



6月定例会

一般会計補正予算	2
委員会報告	3~4
ズバリ町政を問う(10人が質問)	6~16
追跡調査	17
輝け青春	18



与原小学校プール開き

地域介護・福祉の整備

グループホームへ火災予防対策として
スプリンクラー設置
402万円



パンジープラザの
浴室使用料 値下げ
大人 300円⇒200円



6月定例会(1日～17日)
一般会計補正予算2,800万円追加
条例の一部改正・工事請負契約など17議案を可決

総務常任委員会報告



総務常任委員長
坂本東二郎

委員会に付託された議案7件は、慎重審議の結果、全議案を可決した。

● 苅田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

● 苅田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

● 苅田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

● 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

● 専決処分について(平成21年度苅田町一般会計補正予算(第13号))

● 専決処分について(苅田町国民健康保険条例の一部

国民健康保険被保険者証	
有効期限 平成23年3月31日	保険番号 8011111
被保険者 苅田 花子	住所 苅田町富久町1丁目19番地1
被保険者 苅田 太郎	住所 苅田町富久町1丁目19番地1
交付年月日 平成22年4月1日	

を改正する条例の制定について

● 改正の根拠、増収額は、

● 国の税法改正。30件で、約250万円増。

● 専決処分について(平成22年度苅田町一般会計補正予算(第1号))

産業建設常任委員会報告



産業建設常任委員長
三原 茂

委員会に付託された議案3件は慎重審議の結果、全議案を可決した。

● 平成22年度苅田町一般会計補正予算(第2号)について

● 専決処分について(平成21年度苅田町一般会計補正予算(第13号))

● 同様な事故を起こさないようにするためにも、町営住宅の老朽化について全体調査を行う予定があるのか。

● 耐用年数を超えているところもあるため、修繕依頼が上った箇所について、順次対応していく。

● 専決処分について(和解及び損害賠償額の決定について)



城南団地



厚生文教常任委員会報告



厚生文教常任委員長
友田 敬而

委員会に付託された議案7件は、慎重審議の結果、全議案を可決した。

● 平成22年度苅田町一般会計補正予算(第2号)について

● 民生費

● 消防法変更後、スプリンクラー設置義務の生じていない施設は町内にどのくらいあるのか。

● 詳細には把握していない。

● 教育費

● 講師謝金について。

● 大学教授等を年4回、1回4万円の予算で招聘する。

● 相談員謝金について、発達障害についての特別支援教育相談員への謝金と聞いているが、他の発達障害について特別に予算を組んでいるのか。

● 特別には計上していない。

● 「夢の教室」講師謝金につ

夜間議会を開催します!

日中は仕事の都合などで傍聴に来ることができない方を考慮し、議会の活動内容をご理解していただくため、**9月15日(水)午後5時30分**から夜間議会を開催いたします。

どなたでも傍聴できます。役場6階へ、ぜひお越しください。



昨年の夜間議会

9月定例会の予定

9月7日(火)から
一般質問は

9月14日(火)・16日(木)《開議》10時～17時

15日(水)《開議》13時～

夜間議会 17時30分～

6月議会は
91名の
傍聴者が
ありました

受付は庁舎6階
問い合わせは議会事務局
TEL 093-434-1981

- 繰越明許費
● 教育費 町民プール整備費 13億7,483万3,000円について。
- 何としても3月議会で予算化しなければならぬという、議会で大きく取り上げた町長肝いりの予算であったはず。22年度で建設したい。建設できるといつて説明した予算であったはずなのに、なぜ6月議会で繰越明許を行わなければならぬのか。唐突に一般競争入札を取り入れるため工期が間に合わない、建築確認がとれないなど、今までの議会の説明とは全く違う説明に終始する事態になっている。このことは町長を初め、執行部の議会への説明に関して信頼性を著しく

- 低下させる原因になるのではないか。
- 基本的には一般競争入札導入のためと建築確認がとれないため。
- 当初から年度内完成は無理だったことは明白である。工程表の提出を。
- 本定例会終了後、速やかに当委員会へ提示説明する。
- 平成22年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 生活困窮者がふえている中、後期高齢者保険のように9割減免は検討できないのか。
- 現段階では考えていない。
- 苅田町総合保健福祉センターの設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- なぜ使用料値下げについてあいまいな態度に終始してきたのか。総合福祉会館浴場施設配置に関する協議の際、パンジープラザの浴場使用料値下げについて明言しなかったのか。
- 議会の議決が必要なため。パンジープラザへのコ



- ミュニティーバスの運行の見直しは。
- コストの問題のため見送る。
- コストの明細の提示を。
- 一定の前提条件で提出できるのか検討したい。
- 工事請負契約の締結について(苅田町総合福祉会館改修(建築・機械設備)工事)
- 地元業者を優先した指名を組まないのか。
- 特定建設業を営んでいる業者から町内を含めて指名した。
- 地場を大切にしているならば、大手ゼネコンではなく、なぜ近隣市町村の業者の指名をしないのか。
- 経営審査の点数が高い業者から指名し、その後町内業者をつけ加えた。
- 工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について(苅田町火葬場かんだ苑増築改修工事)について
- 増築物件はプレハブか、火葬場の接続は渡り廊下等で結ぶのか。
- プレハブである。敷地の関係上、渡り廊下では結ばない。
- 専決処分について(和解及び損害賠償額の決定について)
- 交通事故について、その原因をしっかりと追求し、再発防止に向けた取り組みを行っているのか。
- 交通安全に対する啓発は行っているが、今後、分析と再発防止に向けた取り組みを検討したい。
- 専決処分について(平成22年度苅田町老人保健特別会計補正予算(第1号)について)

第3回定例会 意見書

- 意見書案第8号 「拡大生産者責任」デポジット制度」の導入で循環型社会の再構築を求める意見書(案) ……可決
 - 意見書案第9号 小規模グループホームの防火体制強化を求める意見書(案) ……可決
 - 意見書案第10号 米軍普天間基地問題での知事発言の撤回を求める意見書(案) ……否決
 - 意見書案第11号 保育制度改革に対する意見書(案) ……可決
 - 意見書案第12号 「住宅リフォーム助成制度」の創設を求める意見書(案) ……否決
- ※可決された意見書は関係機関に送付した。

人事案件

京都市公平委員会委員に白水孝大氏を選任することについて同意



公明党 小山 信美 議員

Q がん検診率向上のための取り組みは。
A 受診者数は増。受診率は10%から20%台。集団検診で土・日曜日検診を2日追加し15日間実施。広報紙で周知する。
Q 子宮頸がんワクチンは接種費用が約5万円かかり、高額のため受けられない。ワクチン接種に全額公費助成を実施すべきでは。

Q 高額なものについて、何らかの公的支援をできればしていききたい。
A 高額のものは、何らかの公的支援をできればしていききたい。
Q 環境問題について
A 新規事業の進捗状況は。
Q 荻田小学校のグリーンカーテン事業は、ゴーヤ、琉球アサガオを南棟1階、2階の教室の窓側に栽培。与原小学校校舎屋上の保水ブロック設置事業は、学校



Q 保水ブロック設置事業の計画は。
A 6月中に仕様書等を作成し、夏休み期間中に工事を終了したい。
Q 芝生化の取り組みは。
A 芝生化の取り組みは、

Q 南原小学校中庭を検討中。公園の芝生化は。
A 南原小学校中庭を検討中。公園の芝生化は。
Q 自治体を取り組む問題だと思うが、富久公園は図書館の広域化により駐車場問題もあり総合的に考えたい。公園を駐車場に変えるのか。
A すぐではないが、可能性はある。
Q ペットボトルのキャップ回収については。
A 本町や町の出先機関にボックスを設置し広報等でPRしていく。

Q 太陽光発電のとり組みは。
A 補助制度の導入は本町も今後、検討していく。
Q LED照明の取り組みは。
A LED照明の導入は本町も今後、検討していく。
Q 南原殿川線のガード内に使用。今後、施設の建設や大規模改修の際に導入。町民プールに太陽光発電とLED照明を導入する。
Q 庁舎内のグリーンカーテンの取り組み状況は。
A 庁舎内のグリーンカーテンの取り組み状況は。
Q 駐車場側にゴーヤを15倍、花壇側に琉球アサガオやマデリヤを栽培。
A 駐車場側にゴーヤを15倍、花壇側に琉球アサガオやマデリヤを栽培。
Q オストメイトのストーマ装具を災害時に備え、避難場所に備蓄できないか。
A 既に取り組んでいる市町村を勉強し、取り組めるものから取り組んでいく。

子宮頸がんワクチンの公費助成を 現在、検討中

小山 信美 議員.....7
 1. 環境問題について
 2. がん対策への取り組み

坂本東二郎 議員.....8
 1. 荻田町農業振興計画について
 2. 都市計画と荻田港引込線について
 3. 北九州空港の現状と課題について

友田 敬而 議員.....9
 1. 第4次荻田町総合計画をどう考える
 2. 地域の宝「神幸祭」を問う

白石 学 議員.....10
 1. 温水プールについて
 2. 住民主役の町づくりについて

三原 茂 議員.....11
 1. これからのまちづくりについて

常廣 直行 議員.....12
 1. まちづくりの課題について(第4次総合計画の考え方)
 2. これからのまちづくりの政策について(コンパクトシティ構想)

梶原 弘子 議員.....13
 1. 深刻な雇用と子どもをとりまく暮らしの改善を求める
 2. 「住宅リフォーム助成制度」創設を望む
 3. 町民の命と生活を守るための環境調査と改善を願う

木原 洋征 議員.....14
 1. 誰もが受けられる国保にするために
 2. 教育問題について
 3. 基金運用問題について

松隈日出美 議員.....15
 1. 未登記の進捗状況
 2. 定住化対策
 3. 指名のありかた
 4. 外国債の連絡協議会について

富安 正直 議員.....16
 1. 町財政の見通しと対応
 2. 町民プール建設計画
 3. 子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン等の公費助成について
 4. 子ども手当への対応



※掲載は登壇順

詳しくは議会HPの議事録をご覧ください。http://www.town.kanda.lg.jp/gikai/gikai.htm



清明会 友田 敬而 議員



- Q** 政教分離問題をどう考えるのか。
- A** 宗教法人そのものには補助は出来ない。しかし、伝統文化の保存継承という観点から助成を行っている。
- Q** 現在、町の伝統文化への助成は。
- A** 等覚寺の松会と菟田神幸祭に九十万円。
- Q** 助成金だけか。
- A** 等覚寺の松会には、バスの運行、職員、消防団等を動員している。
- Q** 二つの伝統文化への支援の違いはなぜか。
- A** どちらがより重要という認識ではない。等覚寺の松会は地域の過疎・高齢化、運営に関わる人の減少が主な要因である。
- Q** なぜ、神幸祭には手厚い

支援がないのか。

A どちらも重要な伝統行事。しかし、松会と神幸祭の保存継承を行う環境の違いが

町にとっての神幸祭とは 地域伝統文化の象徴であり、貴重な観光資源

- 主な原因。
- Q** 文化庁が伝統文化の確実な継承と地域活性化に資する事業には補助金を用意しているが町の認識は。
- A** 文化庁の補助金は承知していない。今後は検討したい。
- Q** 神幸祭は旧菟田地域全域を使用する行事である。近年、警察との運営協議で大きな暗礁に乗り上げている。
- A** 神幸祭は旧菟田地域全域を使用する行事である。近年、警察との運営協議で大きな暗礁に乗り上げている。
- Q** 観光振興計画での神幸祭の位置づけは。
- A** 観光振興計画では、北九州市では、行政が積極的に関わることでスムーズに警察との協議・運営が行われている。本町も行政が加わることで、行政の信用、ノウハウの援助を。
- Q** 認識は共有している。山笠保存会とも前向きに協議の場を持ちたい。
- A** 認識は共有している。山笠保存会とも前向きに協議の場を持ちたい。

- Q** 神幸祭は「神事」ではなく、地域・観光の活性化に資する「お祭り」との認識か。
- A** そのように認識している。観光振興計画に則り、地域、団体の取り組みへの支援を協議していきたい。
- Q** JR菟田駅前通りの電線地中化などソフト面だけでなくハード面での環境整備も重要である。
- A** 今後のまちづくりで前向きに協議したい。

「帰りなんいざ、田園まさに荒れなんとする」とあるが 定年後の労働力は地域資源である

- Q** 3月に提出された菟田町農業振興基本計画について。農業ほど間口が広くすそ野の広い産業はない。菟田産米と町民消費について伺う。
- A** 21年度の水稲作付は約330ヘクタール。生産量は1500トン。菟田町の米の年間消費量は約2000トンと推測される。
- Q** 白川地区で生産された米が菟田町域でどう消費されているのか。
- A** 町内生産米1500トンの内、農協に300トンが集荷されている。のこりは各農家が緑故米など、様々



白川地区の田園風景

- なルートで販売しているのが現実。
- Q** 米の地産地消に積極的に取り組んで頂きたい。
- A** 菟田町農業の活性化のためには生産者と消費者の顔が見え、お互い支え合う地産地消を推進することが有効である。
- Q** 市民農園についてどう考えているのか。
- A** 地域の触れ合いや自家用野菜の生産を目的とし小さく農地を利用して野菜や花を栽培する農園である。
- Q** 定年帰農についてどう考えているのか。
- A** 定年後の労働力は地域の大きな資源であり、生きがい。農業として地域に貢献してもらいたい。
- Q** 農業塾などを活用しながら、プランターから市民農園、そして一反地主へと意欲のある方々を支援する体制を作るべきか。
- A** 学校の食育教育、学童農園での体験。農業公社などが農業支援・農機具リースができる体制を作りたい。
- Q** 中国の有名な詩で「帰りなんいざ、田園まさに荒れなんとする」があるが定年帰農は極めて大事な事だと思う。耕作放棄地、遊休農地対策などにも取り組みができるのではないか。
- A** 地域活性化のツールとして。
- Q** 21年度の北九州空港の乗降客は17%の減。さらに5月より北九州那覇線が運休となった、その対策は。
- A** 今回新たにスカイマーク社が東京便と那覇便を運行する。また、多数のチャーター便が企画されている。
- Q** 貨物便の展開と新規国際路線誘致について。
- A** 貨物便については各種助成制度の創設、国際線には利用促進会が香港マレーシア等にエアポートセールスを行う予定である。



清明会 坂本東二郎 議員



北九州空港



無党派 三原 茂 議員

Q 企業と行政の連携を強固なものにしていく上で何が一番必要だと町長は思っているのか。

A もう少し密接に意見を交わし合うことがまず第一だろうと思っている。

Q 企業の皆様にまちづくりに参加しようという意識を高めてもらう作業が一番大事だと考えている。お互いがお互いを支え合い協力し

Q 開発許可不要の経緯について問う。

A 京築建土事務所及び県庁の判断に従った。

Q 県は図面などの協議資料はないと言っている。許可不要の根拠はどこから出たのか。

A 現地測量結果により作成した造成計画図を提示。許可不要の回答を得た。

Q 要求した資料が、なぜ出せないのか。

A 設計業者が町に図面を提出していない。

Q 県は「事前協議の資料はもらっていない。図面はない」と言っている。

産・学・官の連携したまちづくりが実行できているのか

それぞれ忙しいので難しい

合う上で信頼関係を構築していくことが連携を進めていく上で一番大切だと思っている。信頼関係を構築するよう行政として取り組むべきだと思うが。

A どういうふうにして支え合うかという支え方が大変難しい。

Q 現実に企業が安定操業するための大きな問題・課題がある。そのことに関して

町としてどういうふうにかえ解決するんだと示すことが連携の強化につながっていく。現状では信頼関係が希薄になってきていると感じる。その一例としてエアポートバスの車両選定について、バスのメーカーはどこか。

A 三菱自動車の車両。

Q 空港の玄関口として整備をしてきた荻田駅。町の顔でありシンボルである重要な拠点施設にもかかわらず、看板企業である日産自動車との連携を考えずに違うメーカーのバスを走らせて



エアポートバス

いる。この事に関しての町長の見識は。

A 難しい話である。今回は日産に適合するバスがなかった。

Q 荻田町は九州で3つしかない不交付団体。進出してきた多くの企業の税収の上で成し遂げてきた。地元企業がつくったものを優先的に使うのはあたり前だと思いが町長の考えは。

A そのように思っている。

Q 思っている結果が出ていない。企業が今回の件をどのように感じているかというところが一番大事。現場で働くための通勤バスとしても使っている重要なバス。町の公用車・消防車両とは、性格も中味も全く違う。工場正門前に乗り入れているバス。車両自体の変更を検討すべきでは。

A 今後検討していきたい。

町民プールを繰越明許にした理由を問う

一般競争入札を行うため

Q 町民プールを繰越明許にした理由を問う

A 一般競争入札を行うため



Q 設計業者は提示したとの事。

A 設計業者は提示したとの事。

Q 新たに今回今回の測量について問う。

A 字図上も分筆する必要がある。プール用地の分筆の測量を行っている。

Q 工事が遅れたら、責任は誰が負うのか。

A 誰が負うのか。

Q 協議していくことではない。どういう行き違いがあったのか答えようがない。

Q 一般競争入札にした理由はなぜか。

A 計画当初から一般競争入札と話をしてきた。(町長)

Q 委員会や議員に対し、いつ説明したのか。

A 委員会や議員に対し、いつ説明したのか。

Q 町長と副町長の意見が全然違う。大事なことであり、議会軽視ではないか。

A 町長と副町長の意見が全然違う。大事なことであり、議会軽視ではないか。

Q あらゆる機会に一般競争入札の話はしている。

Q 職員の間とか、個人的に議員等の中で話したというのではなく、議会で話したかを聞いている。

A 機会があれば、一般競争入札の話をしていった。議会にはしていない。

Q 繰越明許になる大きな問題。議案を取り下げたらどうか。

A 3月議会で議決をいただいた。議会もその方向で進めていただきたい。

Q 色んな問題があり、納得できない。経緯や原因をしっかり調べて欲しい。

A なぜこういう経過に至ったのか、つじつまが合わなくて残念。私としては、県業者、職員を非難することは考えていない。それぞれが一生懸命努力している。しかし残念ながら、こういう結果に至った。



公明党 白石 学 議員



日本共産党
梶原 弘子 議員

Q 一部の子ども達とはいえ、子ども達の生活の乱れが数年間続いている、これはどこから来るのか。

A 子ども達の問題行動に自らの課題もあるが、保護者と学校との意思の疎通や信頼関係が築けていない。結果として問題行動が長期化している。

Q 雇用不安の中、子ども達

にも影響していないか。

A 子どもが荒れる原因として、親、家庭や家族の生活状況には相関関係がある。町では要保護児童対策地域協議会を立ち上げ、毎月情報交換している。各関係機関と協力し、生徒等の家庭訪問で、家庭環境改善の働きかけを行っている。町雇用のスクールソーシャルワ



クラックが入った西桜ヶ丘団地

カーを教育委員会に配置し、家庭環境の改善や問題行動の未然防止に努めている。

Q 子育ての対処について、以前はみんな考えているクラ

ス懇談会を開いていたが。

Q リフォーム助成制度創設

A 県内複数の市町村が住宅リフォーム助成制度を創設し、限定的に交付している。今後さらに研究をする。

住宅リフォーム助成制度創設を望む

Q 3月議会でも質問したが、どう受けとめたのか。

A 県内複数の市町村が住宅リフォーム助成制度を創設し、限定的に交付している。今後さらに研究をする。

町民の命と生活を守るため環境調査と改善を願う

Q 通称「西桜ヶ丘団地」元町営住宅の法面が崩れそう

少ないと判断した。

A 消防本部は今回初めて調査し、がけ崩れの危険性は少ないと判断した。

Q 飲食店の廃水は、水質汚濁防止法の対象外と言いますが、高濃度排水処理装置というものがある。設置義務づけを願う。

子ども達の乱れが長期化

スクール・ソーシャルワーカーを配置

第4次総合計画策定に対し、町長の考えは

審議会の自由な発言を大切に



ニューフォーラム
常廣 直行 議員



エアポートバス

コンパクトシティ構想

Q 人口増加が望めない中であって、拡大する社会基盤整備を、産業や人口構成にあった適正で効率的な規模、

水道浄化センター

Q 現在、水道は「水道ビジョン」下水は「公共下水道基本計画」というように事業ごとに実施している。維持管理計画は、今後「超寿命化計画」を策定する。

Q 道路、上下水道、学校、庁舎など公共施設の将来設計が必要では。

A 学校は状況に応じて修繕対応。長期的な構想はない。

第4次総合計画の考え方

Q 「工業の町である」という基本認識が薄れつつあるのでは。

A 工業のまちとして発展してきた。今後もモノづくりのまちづくりを進めたい。

Q 企業は共存共栄を望み協力的な行政に期待している。

コンパクトシティ構想

Q 20年後の生産人口は半分、高齢化率は1.5倍になる。その対応は。

A 3年サイクルで、その時々において見直している。

低酸素社会づくり

Q 日本は2025年までにCO2を25%削減しなくてはならない。コンパクトシティ政策は低酸素社会の実現にも大きく貢献する。さらに自動車のまちと称する本町は、全くCO2を排出しない電気自動車の普及、支援への取り組みも重要な。プロジェクトチームを作ったの推進を提言する。



下水道浄化センター

人口減少社会にあって、従来のような市街地拡大による地域の活性化は期待できない。本町にあった規模のまちづくりと行政サービスの構築する時だ。第4次総合計画策定を契機としてコンパクトシティ政策を検討する時では。

A 多角的に検討する必要がある。コンパクトなまちづくりという考え方、視点は重要だと考える。



未来 松蔭日出美 議員

- Q 一番古いのでどのくらい経っているのか。
- A 手元に資料がないので一番古い時代の未登記物件の年数はわからない。
- Q 調べて仕事をしたい。
- A 未登記解消に向けて努力したい。
- Q 定住化対策について、白川地区を重点的にお願いしたい。
- A 町民が住み続けたい、町外

- Q 町が取得した等覚寺の土地の現状は。
- A 町が取得した等覚寺の土地の現状は。
- Q 少子化対策で、住宅をつくる計画はないのか。
- A 現在、与元の土地区画整備事業に着手しており、白川地域での計画は今のところない。
- Q 町民が住み続けたいと感じられる魅力ある施策など、一層充実させ定住化を促進していきたい。
- A 少子化対策で、住宅をつくる計画はないのか。
- Q 現在、与元の土地区画整備事業に着手しており、白川地域での計画は今のところない。
- Q 町が取得した等覚寺の土地の現状は。



等覚寺の柵田

Q 未登記の進捗状況はその後、進んでいない

- Q 将来的には観光振興等を目的に整備をしていく。
- A 用地を取得時に県との約束があったのでは。

- Q 事業認定をいただき、里山体験学習施設事業、花を植えたり、木を植えたり、もう一つ、空の家、分校跡地を利用した宿泊が可能な学習施設、一つの事業として取り組みを行っている。
- Q 菟田の子供達がよその町で体験学習をしなくてすむように早く立派なものを作っていたらいい。
- A 町の自然を有効活用するため、現在、計画をして

- Q 事業認定をいただき、里山体験学習施設事業、花を植えたり、木を植えたり、もう一つ、空の家、分校跡地を利用した宿泊が可能な学習施設、一つの事業として取り組みを行っている。
- Q 菟田の子供達がよその町で体験学習をしなくてすむように早く立派なものを作っていたらいい。
- A 町の自然を有効活用するため、現在、計画をして
- Q 事業認定をいただき、里山体験学習施設事業、花を植えたり、木を植えたり、もう一つ、空の家、分校跡地を利用した宿泊が可能な学習施設、一つの事業として取り組みを行っている。
- Q 菟田の子供達がよその町で体験学習をしなくてすむように早く立派なものを作っていたらいい。
- A 町の自然を有効活用するため、現在、計画をして
- Q 事業認定をいただき、里山体験学習施設事業、花を植えたり、木を植えたり、もう一つ、空の家、分校跡地を利用した宿泊が可能な学習施設、一つの事業として取り組みを行っている。
- Q 菟田の子供達がよその町で体験学習をしなくてすむように早く立派なものを作っていたらいい。
- A 町の自然を有効活用するため、現在、計画をして

Q 低所得者へ窓口負担(医療費)の減免を A 国の通知を待つ、対応

- Q 誰もが受けられる国保にするために
- Q 低所得者への窓口での医療費負担の軽減は、国保法に基づき運用すべきでは。
- A 国では、モデル事業が実施され、今年度中に運用のための基準が示される。生活困窮者に対し、きめの細かい対応ができる。
- Q 国保税の滞納世帯数が1261世帯、加入世帯数の25%、4軒に1軒の滞納は異常と思わないか。
- A 払えない人が増えている。
- Q 誰も払えない国保にするために、1世帯1万円の引き下げをすべきだ。
- A 一律の引き下げは考えていない。



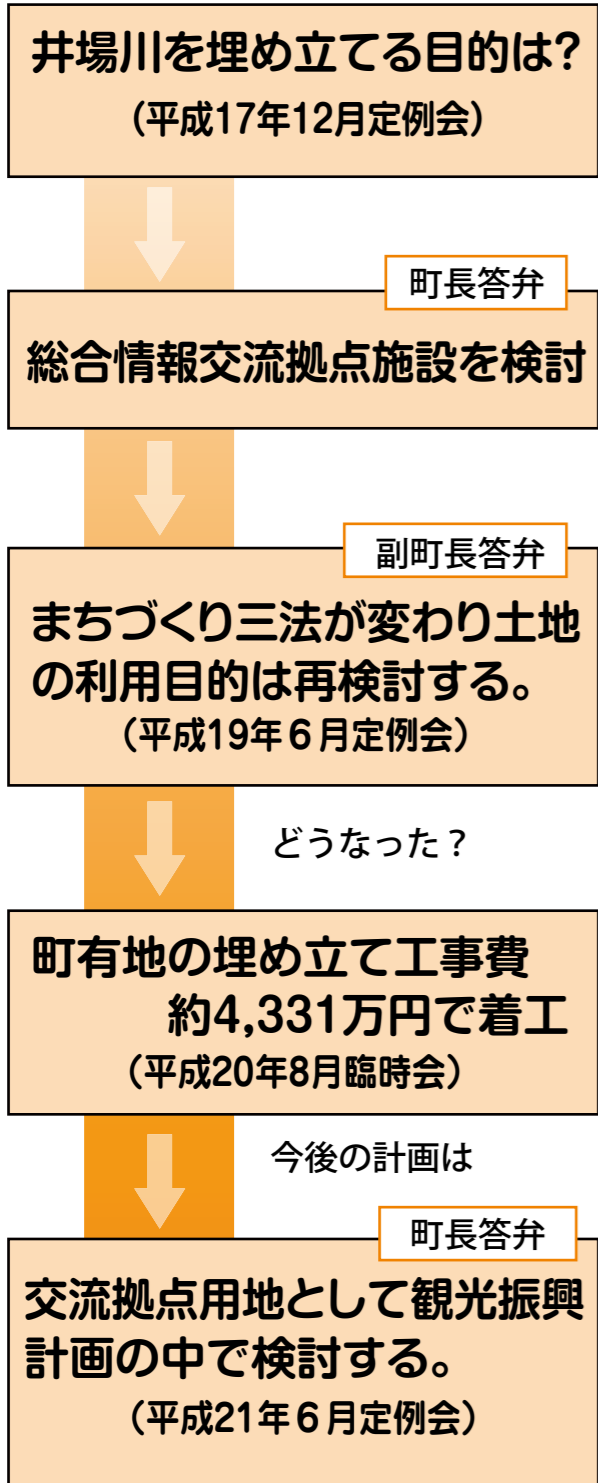
日本共産党 木原 洋征 議員

国民健康保険被保険者資格証明書	
交付年月日	年 月 日交付
有効期限	年 月 日まで
記号	番号
氏名	見本
生年月日	年 月 日
住所	見本
保険者番号並びに保険者の名称及び印	見本 4:01:2:08
注意事項	
1 この証で診療を受けるときは、診療費用の全額を支払ってください。	
2 療養取扱機関等について診療をうけようとするときは、必ずこの証をその窓口で渡してください。	
3 滞納している保険税(料)を納付したときは、被保険者証を交付します。	
4 災害等の特別な事情が生じたときや、身体障害者福祉法の更生医療等の公費負担医療を受けることができるに至ったときは、速やかに申し出てください。	
5 被保険者の資格がなくなったときは、直ちに、この証を市町村に返してください。また、転出をする際には、この証を添えてください。	
6 この証の記載事項に変更があったときは、14日以内に、この証を添えて市町村にその旨を届け出てください。	
7 有効期限を超過したときは、この証を使用することはできませんから、速やかに、市町村に提出して、検認又は更新を受けてください。	

- Q 生活保護基準以下の低所得世帯に、町独自の9割軽減制度の導入をすべきだ。
- A 7割軽減者全員を9割軽減した場合、約1700万円が必要。後期高齢者医療は9割軽減があり、検討はしている。
- Q 長野県の原村では、1971年に70歳以上、10年後の81年には65歳以上の医療費を無料化している。本町でもすぐやるべきだ。
- A 本町の高齢者医療費は年々右肩上がり、県下でも1番の状態だが、医療費の無料化は考えていきたい。
- Q 国保の滞納世帯の半数が軽減世帯、法定減免を受けても払えないことをどのように考えているのか。
- A 本町に払えないのか、調査する必要がある。納税が困難であれば分割納付を呼びかけ、それでも困難ならば、別の処理を考えたい。
- Q 別の処理方法とは。
- A 払えないことが明らかであれば、滞納処分は停止ができる。
- Q 厚労省から、払えるのに払わないことが証明できなければ、資格証を発行するなどの通達が出ているが。
- A 資格証を出す前に2ヵ月半かけて4回通知を出し、相談がなければ、発行している。
- Q 本町に払えなければ、短期証に切り替える。会って状況を確認することが必要。
- Q 教育問題について
- Q 新津中学校の学級編成において、35人の4クラス、2人担任制にしたのはなぜか。条例上では28人の5クラスではないのか。
- A 生徒指導上十分に留意する必要がある生徒が多い。2人担任制の指導で、昨年度より落ち着いて学習をしている。

井場川埋立地 どうするの？ 追跡

一般質問その後



議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、その後どのように反映されたか追跡しています。



質問者の満足度 😞

1年経過したが進捗なし
国の補助制度に係わらず埋立地の利用目的は早く決めるべきでは！

※まちづくり三法 「都市計画法」「中心市街地活性化法」「大規模小売店舗立地法」の総称で中心市街地を活性化させるための法案です。

Q 町民プール事業の予算をこれ以上増やさないと明言してはどうか

A 絶対に無いとは言えない



ニューフォーラム
富安 正直 議員

Q 町民プールの予算をこれ以上増やさないと明言してはどうか

A 絶対に無いとは言えない

Q 町民プールの将来に危機感を来年度の子算編成はどのような見込みか。

A 今年度は前年度の繰越金等で予算編成はできているが、来年度は今年度ほどの繰越金が見込めず、非常に厳しい財政運営が強いられる。

Q 平成二十五年までの町の試算でも税収は本年度よりも低く推移する。小波瀬駅の整備、井場川河口の埋立



J R 小波瀬西工大前駅

Q 町民プールの将来に危機感を来年度の子算編成はどのような見込みか。

A 今年度は前年度の繰越金等で予算編成はできているが、来年度は今年度ほどの繰越金が見込めず、非常に厳しい財政運営が強いられる。

Q 町民プール、また延期？

A 建築確認申請の手続きが町と県と設計業者の間で意図したようにならなかったと聞いている。

Q 経済状況によっては、町に立地する企業の先行きも不透明だ。将来の税収に危機感を持って、企業の皆さんが町田でよかったと思う取り組みが必要だ。

Q 今後の事業も重要度と財政状況を見ながら考えたい。

Q 今回の遅れの要因を整理し、今後の参考にしたい。経緯も含めて説明はしたい。

Q 町長の責任において温水プールの事業費はこれ以上増やさないと明言しては。

A それで自分で自分の首を絞めるような結果にもなりかねない。今回も意図していたことではないように、結果的にウソになる懸念もある。絶対に無いとは言えない。

Q ヒブワクチン等の公費助成

A 全国の自治体に広まりつつある新しい予防接種への取り組みは。

A 公費助成について検討をしている。

Q 医療費の削減対策として、費用対効果が見込まれる予防接種は医師会なども相談しながら、積極的に進めるべきだ。



輝け青春 クラブ活動

全ての思いを音楽に

荻田中学校吹奏楽部部長 堀 彩香

私たちが荻田中学校吹奏楽部は計62名で、顧問の先生の指導の下、「全日本吹奏コンクール」に向けて、日々練習に励んでいます。

私たちは「努力は実る」と信じて、練習を重ねて来ました。時には、思い通りの演奏ができず、くじけそうになることもありました。でも、私たちがここまで来れたのは、皆で励まし合い、認め合える「仲間」がいたからです。私たちはこのすばらしい仲間と共にコンクールの舞台に立ちます。悔いの残らないよう、自分たちの持っている力を最大限に発揮したい

がここまで来れたのは、皆で励まし合い、認め合える「仲間」がいたからです。私たちはこのすばらしい仲間と共にコンクールの舞台に立ちます。悔いの残らないよう、自分たちの持っている力を最大限に発揮したい



と思います。

今まで支えていただいた方々への感謝の気持ちをこめて、一つひとつの「音」に私たちの全ての思いをたくして、聴く人の心に響くような演奏をしたいと思っています。残り少ない期間ですが、部員一同、心を一つに精一杯頑張りますので、応援よろしくお願いします。

「絆」

荻田中学校サッカー部主将 一原 拓夢

荻田中学校サッカー部です。僕たちは3年生9人、2年生12人、1年生11人、合計32人で活動しています。未経験者が多く、決して上手なチームとは言えません。しかし、練習を重ねるうち、チームワークが高まり、強豪チームとも十分戦えるようになってきました。

僕たちの持味は、どのチームにも負けないチームワークです。練習では、それぞれの短所を遠慮なく指摘しあい、全員の弱点を共有してきました。時にはケンカになることもありましたが、弱点を知ることでもそれをカバーしたり、役割をはつきり決めたりと、試合に勝つために改善を重ねてきました。

先日行われた京都府大会では、今まで積み重ねてきたことを発揮し、大健闘しましたが、1点が遠く惜敗しました。悔し涙は流しましたが、全力を出し切った達成感もある



りました。何より、お互いを信じてゴールを目指した仲間との絆は、僕たちの一生の財産になると思います。

3年生はこの大会を最後に引退します。これから受験に向けて、将来の夢に向かって、部活で学んだ「あきらめない心」を忘れずに、仲間とともに突き進んでいきたいと思えます。今までお世話になった皆さん、先生方、ありがとうございました。これからも、後輩たちを応援よろしくお願います。

あとがき

南アフリカで開催されたサッカーワールドカップ日本代表で、荻田町出身の大久保嘉人選手の活躍、凄かったですね。

一方、大相撲では野球賭博で大荒れ、スポーツの世界では明暗を分けています。また、国政では参議院選があり、自民、民主の立場が逆転しました。

この議会だよりが皆様の手元に届く頃には、うっとうしい梅雨が終わり、夏真っ盛りで各地で夏祭りが行なわれている事と思います。暑い夏！エアコンで涼を取るのも良いが、外で汗をかいてみませんか。

榎谷 忠明

議会広報特別委員会

- 委員長 井上 修
- 副委員長 常山 直
- 委員 小原 信美
- 木谷 洋征
- 榎田 忠明
- 友田 敬而
- 伊塚 純治
- 山口 純治

” ” ” ” ”